

校長室より

二松学舎大学附属高等学校
校長 鵜飼敦之

「二松から飛翔へ」 ～ 一期一会 ～

部活動観戦記② ～男子バスケットボール部～

九州地方では早くも梅雨入りが宣言されましたが、はじめじめを吹き飛ばすかのような、爽快なプレーを間近で観戦してきました。18日（日）、インターハイ予選の初戦が学習院高校体育館で行われました。

10時30分に到着するとすでに試合はスタート。ゲームは第1ピリオド開始直後から本校ペースで展開し、オフェンスリバウンドやパスカットで着実に得点を重ね、24-5と大きくリードしました。第2ピリオドも相手の攻撃をしっかり封じ、前半を安定した内容で終えます。

迎えた後半、第3ピリオドは選手交代も行いつつも、流れを崩さずに試合をコントロール。最終的に112-25という圧倒的スコアで勝利を飾りました。チームワークが発揮された試合でしたが、次戦へ向けては「フリースローやフリーのシュートを着実に決める」ことを課題に、さらなる精度向上を期待したいと思います。

当日は保護者の皆さまも応援に駆けつけ、選手たちへ温かなご声援を送っていただきました。二松学舎の力強さを感じ、会場に集った全員が元気をもらったひとときでした。来週も勝利を期待しています。



音色が結ぶ絆 ～ギター部校内発表会～



「自分たちの好きなことを通して学校を盛り上げる」——ギター部のモットーが今年も実を結び、12日・13日の昼休みに校内ホールで演奏会を開催しました。部員たちは事前の校内予選で投票を勝ち抜いた精鋭たち。互いに切磋琢磨しながら腕を磨き、満を持してステージに臨みました。

ホールは昼休みにも関わらず大盛況で多彩な曲を披露。どのグループも個性豊かで、観客を楽しませてくれました。昼休み終了のチャイムと拍手が交錯し、生徒たちは笑顔で教室へ戻っていきました。

今後も定期的に開催予定ですので、ぜひ昼休みのお楽しみとしてご参加ください。

未来を見据えて ～授業見学会レポート～

来春の本校入学を検討している中学生とご家族を対象に、6月末まで全6回の授業見学会が17日（土）スタートしました。初回は雨天にもかかわらず、60名近くの中学生と保護者の皆さまにお越しいただきました。ご関心の高さに改めて感謝申し上げます。

冒頭の挨拶では、私から「人生100年時代、わずか3年間の高校生活が心に残る思い出となる」とお話ししました。高校は学びの場であると同時に、人間として成長し、将来の道を拓くステージです。その大切な3年間で過ごす学校は、ぜひご自身の目で校風や教育方針を確かめ、納得して選んでほしい——そんな思いを込めた言葉でした。

当日は3年生の学校紹介も交え、学校概要・入試制度などについて説明をしました。在校生の言葉には中学生のみなさんも興味津々の様子でした。授業後の校舎見学では、3時間目の授業の様子や図書館、特別教室などの校内施設を見学していただき、アットホームで先生との距離が近い雰囲気を感じていただけたと思います。残りの回にもまだ空きがありますので、ご興味のある方はお早めに学校Webサイトからお申し込みください。皆さんが自分らしく輝ける学校選びを応援しています。

